

町ぐるみ運動会

向陽中学校 校庭
参加人数 606人

11月3日(祝・金)

前日まで開催が危ぶまれましたが、皆の願いが通じたのか当日は見事に晴天となりました。ボランティアの中学生達もよく働いてくれており、重い物を運ぶ人を見るとすぐに代わってくれた姿が印象的でした。競技に於いては、どんなお題が書かれているかスリル満点の借り物競走は特に盛り上がりを見せていました。多くの児童、保護者、先生方が参加してくださり、その中で地域の方との交流もうまれる等、"町ぐるみ"という名に相応しい一体感のある運動会となりました。

(三留 さよ)



令和6年度 事業報告

杉並区内には、17地区の青少年育成委員会があり、その構成委員は幅広い層の中から選ばれています。活動内容は、育成会ごとに違いはありますが、地域の青少年の健全育成を図ることを目的とした、地域社会に根差した自主団体です。



令和6年度総会

下高井戸区民集会所 2階
参加人数 63人
4月24日(水)

バスハイク

さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト
参加人数 85人
7月13日(土)

有害環境

地域パトロール
参加人数 61人
5月29日(水)

委員研修

AED講習会
参加人数 26人
12月3日(火)

凧つくり会

各小学校、子供園
参加人数 199人
12月7日(土)～12月17日(火)

凧あげ会

向陽中学校 校庭
参加人数 210人
1月5日(日)

地域のみなさまを初め、近隣の小・中学校の校長先生、PTA 役員のみなさま、子育てプラザのみなさま、そして、行政からも多くの皆さまが出席され、令和6年度総会が開催されました。議長選出後、令和5年度事業報告、決算報告、会計監査報告がありました。続いて、今期の体制案、令和6年度事業計画案、収支予算案が慎重審議され、すべて報告通りに拍手をもって承認されました。

(齋藤 佳子)

前日の雨で心配されたバスハイクですが、当日は好天気恵まれ、子供達の笑顔がたくさん見られる一日となりました。カレー作りでは火おこしを初めてする子もいて、緊張気味にマッチを擦ったり、慣れない煙に苦戦したりする姿もありましたが、飯盒で炊いたご飯と、自分で野菜を切ったカレーの美味しさに大満足の子供達でした。昼食後はフリーパスを思う存分楽しみました。各小中学校の校長先生や副校長先生、地域の方々、他校のお友達と一緒に活動することはあまり無いので、とても良い経験となりました。

(細淵 恵梨果)

今年は、5月の日中に1回、11月、12月、2月に各1回ずつ、夕方暗くなる時間に合わせて17時30分～開催しました。各小中学校区に分かれてパトロールし、日中の明るい時間のパトロールでは通学路点検をしつつ、様々な情報交換をし、暗い時間のパトロールでは、周辺の公園や学童クラブから一人帰るお子さんの見守りをしました。3学期には周辺地域での不審者情報が多発しているので、今後も定期的に開催していきたいと思えます。

(行定 多喜子)

杉並消防署永福出張所から4名の方が来てくださり、委員研修AEDの講習会を行いました。私は、AEDを初めて扱うため少し緊張していましたが、消防署の方の指導のもと、2人1組で実践しました。人形を使って声かけや安全確保を行い、AEDを取りに行く人や119番に連絡する人を指名して、心臓マッサージの方法を学びました。AEDの使用はアナウンスに従うことで、スムーズに行うことができました。現在は、感染予防の為、人工呼吸は行わないそうです。また、心臓マッサージの速さは、童謡「うさぎとかめ」のリズムで行うと良いことも学びました。意識のない人を発見した際は、迷わず1秒でも早くAEDを使用し、心肺蘇生法を実施したいと思います。

(丸田 恵美子)

当日は寒い中、多くの子どもたちと低学年付き添いの保護者の方が参加してくださいました。子どもたちが凧づくりの説明も真剣に聞いてくれて、細かい作業もみんな一所懸命に取り組んでいました。絵のデザインは各々の好きな物やお正月らしい物など個性があふれていて、それを熱心に書いている子どもたちの様子が可愛らしかったです。ボンドを使用しながら和紙を扱うのですが、手順をよく考えて確認しながらとても上手に凧を作り上げることができました。完成した凧を前に誇らしい表情を浮かべていた子どもたちが印象的でした。可愛い凧が空を舞うのが楽しみです。

(朝井 ゆり子)

今年の凧あげ会もお正月の清々しい晴天に恵まれて多くの方々を足で運んでくださいました。皆さんそれぞれにお気に入りの凧を持ってきてくださったり、凧づくりコーナーで思い思いの凧を作って広い校庭を楽しそうに凧をあげながら駆け回っていました。各学校からの10連凧も大空を舞い、年明け早々に晴れ晴れとした気持ちになり、素敵な一年のスタートとなりました。また、けん玉や羽子板、竹ぼっくりなどの昔遊びコーナーでも多くの子どもたちがとても笑顔で遊んでいたのも印象的でした。日本の昔からの遊びをみんなで経験できる貴重な時間となったと思います。

(朝井 ゆり子)

